



令和 3 年 3 月 1 日現在

世帯数	979 戸
人口	2,328 人
男	1,165 人
女	1,163 人

退任のご挨拶

内田公民館運営委員会 会長

梅北 幸男

2 年間の内田公民館活動では内田地区の皆様にも多大なるご協力、ご支援を賜り大変ありがたく、感謝申し上げます。おかげをもちまして、知識も経験もない私が、任期を振り返る挨拶をする事ができる時を迎えることができました。

新元号、令和の年に始まり、令和 3 年の春を迎えるこの 2 年間は、内田地区にお住まいの皆様にとっても、世界の

子ども会育成会長

丸山 剛徳

令和 2 年度がコロナ禍に翻弄されて終わろうとしています。育成会でも 4 月の休校により何の計画もたてられないまま、一年が過ぎてしまいました。最後の年に残念です。

子ども会育成会規約には、会は内田地区全戸をもって組

の人々も想像した事がない時

が流れたと思います。令和元年においては、内田地区球技大会、内田ササまっつり、第 56 回内田地区大運動会をはじめ、多くの行事が、たくさん

の参加者、来場者を得て親睦をはかり、地域のつながりを実現できました。令和 2 年の年は、季節が進むにつれて、自粛ムード中、

内田地区に限らず様々な行事が中止に追いやられました。そんな中でも、何とか活動を

織し将来を担う子どもたちの健全育成を促進するとあります。また松本市では地域の子どもは地域で育てると定義しています。日頃から子どもたちを温かく見守ってください。元気なあいさつが聞こえます。

近年、部活やサークル等で育成会行事への参加が難しい

内田スポーツDay
(令和元年 5 月 12 日)



内田地区球技大会
(令和元年 7 月 7 日)

続けようとする意気は内田にはありましたし、形を変えてでも、いくつかは実行できました。第 43 回内田地区文化祭、第 22 回内田地区福祉ひろばまつりもその一つです。新年度を迎え、公民館活動の、さらなる発展をお祈りします。

子が増えてきました。それでも機会ある度に集まり、ササラ踊りを学び、ササラまつりや運動会に大きな輪をつくれるのが内田の子どもたちです。真に誇らしい伝統だと思います。4 年間交代で支えてくれた副会長の皆さん、また力添えをいただいた協力委員の皆さんありがとうございました。

内田地区体育協会 会長

吉江 昌秀

多くの方々に支えられ体育協会の活動ができた事と思います。

春の内田スポーツDay は最初の行事で心配でしたが、理事、評議員の皆様のご協力のもと、小学生の全力で体験する笑顔にほっこりしました。

夏のササまっつりでは、中学生ボランティアの協力もあり、熱々の焼きそばをお届けできました。

秋の大運動会では、前日の準備から当日まで長い時

間、体育協会のみならず町会役員の皆様のご協力で安全な運営が行え、大成功を収める事ができました。令和 2 年度は、コロナ禍により、冬のニュースポーツ体験会のみ活動でしたが、スポーツ推進委員のご指導のもと、久しぶりの運動で汗をかく喜びを思い出しました。

この地域ならではの活動が多く、楽しい行事がある内田。新年度は、賑やかなスポーツイベントが、戻ってくる事をお祈りいたします。2 年間ご協力ありがとうございました。

内田地区文化祭
福祉ひろばまつり
(令和 2 年 11 月 8 日)



内田ササまっつり
(令和元年 8 月 14 日)

内田地区大運動会
(令和元年 9 月 8 日)



常楽寺の大掛軸

ごひゃくらかん
「五百羅漢」



五百羅漢大掛軸

巾15尺 高さ8尺
(文久2年 1862年)

第五町会清水地区の常楽寺に、縦2・4m、横4・5mという大きな仏画があります。「五百羅漢図」といわれお釈迦様の教えを受けて最高の修行を達成された人「羅漢様」が五百人結集され、各々が聴得、体験した知恵の数々を一つずつ語らい、法悦に入っている様子が画かれています。

裏面には文久2年(1862)藤原竹宗画とあり、長崎県の寺から安曇村の安楽寺、そして明治12年9月、当寺に入った、と記録されております。今や140数年、少しずつ傷みも入り平成30年、実に160年を経て一級表具師加納和義師により表裏2面の表具が完成されました。

御開帳は境内のしだれ桜に合わせ満開から5月5日まで行なっております。遠出の自粛がされておりますが、近くの散策を楽しみながら、どうぞお出掛けください。

第5町会 榎 完明



異文化料理教室

1月31日に異文化料理教室が開催されました。この講座は料理を通して異文化への理解を深めるといふもので地区の人権啓発事業の一つに位置付けられています。

講師に、大手4丁目の「ドーン食堂印度山」のシルプカー・アシシュさん(インド出身)を招いて、9種類のスパイスを使ったひよこ豆カレーの作り方を学びました。

アシスさんの出身地では、カレーと一緒にチャパティ(全粒粉と水を混ぜて捏ね、平たく伸ばして焼いたもの)がよく食べられるそうです。外国の食文化を学びながら、本場インドカレーのスパイスの香りを堪能しました。



人権啓発視察研修



令和2年度の人権啓発視察研修(2月13日)は、山梨県北杜市にある「浅川伯教・巧兄弟史料館」を視察しました。

浅川兄弟は、日本統治下の朝鮮半島で暮らし、朝鮮の人の立場で朝鮮を捉えようとした数少ない日本人で、朝鮮青磁・白磁が日本で注目されることとなった功労者であったことを学びました。

好天に恵まれ、参加者14名は新春の甲斐善光寺を参拝し、新型コロナウイルス終息を祈願しました。

つれづれ編集記

この2年間、館報編集委員長として公民館長、主事はじめ委員の皆様大変ご苦勞様でした。長として感謝申し上げます。また、この2年間記事を書いていただきました皆様にも、お礼を申し上げます。この1年はコロナ禍により、今まで多くの行事が中止、または縮小となってしまいました。行事等少ない中で記事を集めて書いていただきました。

いよいよ新型コロナウイルスのワクチンが開発され日本にも到着しました。一部ですが医療従事者への優先接種が始まりました。今年はコロナの患者の数が減少し経済も回復していく事を祈ります。

話は変わりますが自分は文章など書く事があまり無く皆様の記事を読んでいくと皆さん上手だなと感動している次第です。

第5町会 丸山 一雄

令和元・2年度館報編集委員

- 第1町会 新井 勝弘
- 第2町会 中島 美代子
- 第3町会 青柳 政彦
- 第4町会 小河 光正(副委員長)
- 第5町会 丸山 一雄(委員長)
- 第6町会 吉江 史彦(全市版担当)
- 第7町会 工藤 哲夫
- 第8町会 田中 正一
- 第9町会 青山 良成